

# 吉田りえ活動報告

～農と食は、国の本なり！食料の安全保障～ 第10号

## 希望がもてる農政を！ 安心な食を！

吉田りえは、岐阜のまちづくりを市民みんなで考える『岐阜の心と心をつなぐ学習会』を主宰しています。2017年7月28日に、「食料の安全保障を考える」をテーマに、JA全農OBをお招きし、学びを深めました。食料、エネルギーを海外から大量に輸入しなければならない日本の現状は、災害や紛争等の世界的事件の際の食糧危機への耐性が最も低い国のひとつであると言わざるを得ません。日本の食料自給率は先進国の中で最低レベルであり、日本の農業生産者の高齢化と後継者不足は、あいかわらず深刻な状況です。これは、中長期展望にたった農業及び生産者の育成基本路線の欠如によるものだと思います。

食料自給率向上のための予算は、防衛予算と同様に国家の存立に関わる不可欠なコストです。農業改革を農協改革へと問題をすり替えることなく、国策の抜本的改革と関係省庁の串刺し対応が必要であると、政府が進める農業の規制改革の流れを見ながら強く思います。

## 地域の農業を守ること＝地域の資源を守ること

